



知多市少年少女発明クラブ

令和7年度 応用クラス2 活動記録



10月19日 化学実験・物理実験

前半の講師は、谷口指導員です。

クラブ員は、ストローとマッチ棒で作った「吹き矢」で、矢の装填位置を変えた場合の飛距離の違いを、実験で調べました。

次に、燃料電池の実験で、水を「水素」と「酸素」に分解する仕組みを使用して、二酸化炭素を出さないクリーンなエネルギーを貯めたり使ったりできることを学びました。



後半の講師は、野々部指導員です。

元素についての講義の後、「炎色反応」の実験をしました。

クラブ員は、燃料アルコールと酢酸カルシウムから、実験に使用する固形燃料の作成に挑戦しました。その後、作成した固形燃料を使って、火の中に入れる金属の種類によって異なる色の炎になる「炎色反応」を観察しました。



炎色反応の様子

(※ 花火の色にも、この反応を利用している。)